第 10 講 【系統地理編】交通・通信・観光・貿易

PART 5 世界の貿易圏，日本の貿易

Chapter 1 世界の貿易圏

目標 カナダとメキシコの貿易における，共通点を理解しよう。
これからの世界経済に大きな影響を及ぼすと考えられている国を挙げよう。

1 一体化を進めるヨーロッパ

・**EU**および周辺国の間では，**人・モノ・金・サービス**の移動が〔　　　　〕であり，巨大な**自由貿易圏**を形成している。EUの貿易額は，世界全体の約 30％を占める。

・EU各国は，EU圏内での貿易の割合が高い。

国名	貿易の特徴
〔　　　　　〕	高度な研究力・技術力を活かした，**精密機械**や**医薬品**の輸出に特徴がある。
〔　　　　　　〕	機械類などに加え，**北海油田**を有し**原油**も輸出。2020年にEUから離脱。
〔　　　　　　〕	エアバス社の**航空機**の組み立て工場が立地し，航空機の輸出に特徴がある。
イタリア	伝統的な技術を活かした**高級衣料**の輸出に特徴がある。
スペイン	賃金水準が比較的低く周辺国から**工場**が進出。**自動車**が主力の輸出品目。

2 巨大な自由貿易圏を形成する北アメリカ

・アメリカ合衆国・カナダ・メキシコは〔　　　　　　　　〕を結び，国際分業を推進。人的移動も活発。

・カナダやメキシコでは，アメリカ合衆国への輸出額は全体の**約 70％**に達する。

国名	貿易の特徴
カナダ	アメリカ合衆国向けの**原油**と**自動車**。ほかには木材や穀物など。
メキシコ	アメリカ合衆国向けの**電気機械**，**自動車**や**原油**など。ほかには野菜・果実など。
アメリカ合衆国	世界最大の**貿易赤字国**。**航空機**の輸出が特徴。

3 工業化が著しいアジア諸国

・東南アジアでは，〔　　　　　　　　〕を基盤とする経済圏が発達し，域内関税の撤廃などを行っている。経済レベルの差を活かした国際分業で, 地域全体の工業化が図られている。

・東アジアでは，〔　　　　　　　　　　　　〕を中心に，工業化が進展。貿易の規模が拡大している。

国名	貿易の特徴
韓国	機械類や自動車のほか，世界的な生産量を誇る**船舶**の輸出も。
ベトナム	ASEANの一員。**市場経済の導入**により輸出量が急増。機械類，衣類など。
タイ	ASEANの一員。日系企業の進出により**自動車**の輸出が増加。
バングラデシュ	低賃金で**労働集約型工業**が発達。輸出総額に占める**衣類**の割合が高い。

4 台頭するBRICS諸国

・多くの人口と広い国土，豊かな鉱産資源を有する**ブラジル**，**ロシア**，**インド**，**中国**，**南アフリカ共和国**は，経済成長が著しく，世界の貿易において重要性を増している。

・この5か国は，それぞれの頭文字を取って〔　　　　　　〕と呼ばれている。

国名	貿易の特徴
ブラジル	MERCOSUR（南米南部共同市場）の中心国。工業製品の輸出も行うが，中国向けの**鉄鉱石**や〔　　　　〕の輸出も拡大。
ロシア	〔　　　　　　　　　　　〕での**原油**や**天然ガス**の輸出。
インド	**石油製品**の輸出。コンピュータソフトなどの輸出も多い。
中国	**世界最大の輸出額**。機械類のほか，衣類の輸出も多い。
南アフリカ共和国	〔　　　　〕など鉱産資源の輸出が多いが，アフリカ最大の工業国として機械類や自動車の輸出も多い。

まとめ

USMCA の締結国であり，対アメリカ合衆国の貿易割合が高い。

アジア NIEs や BRICS 諸国。経済成長が著しく，貿易の規模が拡大している。

Chapter 2　日本の貿易

目標
近年の日本の輸出品目の特徴を理解しよう。
現在の日本の，最大の貿易相手国と主な輸入品目を理解しよう。

1　日本の貿易の変遷

1. 戦前

・**加工貿易**が中心。〔　　　　　〕などの繊維原料を輸入，織物などの**繊維製品**を輸出。

2. 1960 ~ 70 年代

・〔　　　　　　　〕**工業**の発達。**鉄鉱石**や**石油**などを輸入し，**鉄鋼**や**機械類**を輸出。

→高度経済成長期には**石油**の輸入が増大し，〔　　　　　　　　　　　　　　　〕で大打撃を受けた。

・最大貿易相手国：**アメリカ合衆国**

3. 1980 ~ 90 年代

・〔　　　　　　　〕の生産と輸出が急増。

→アメリカ合衆国などとの間に，〔　　　　　　　　〕が発生し，欧米に工場を進出させ**現地生産**を開始。

・貿易の自由化の流れにより，アメリカ合衆国から**農産物の輸入**が増加。

・最大貿易相手国：**アメリカ合衆国**

4. 2000 年代頃~

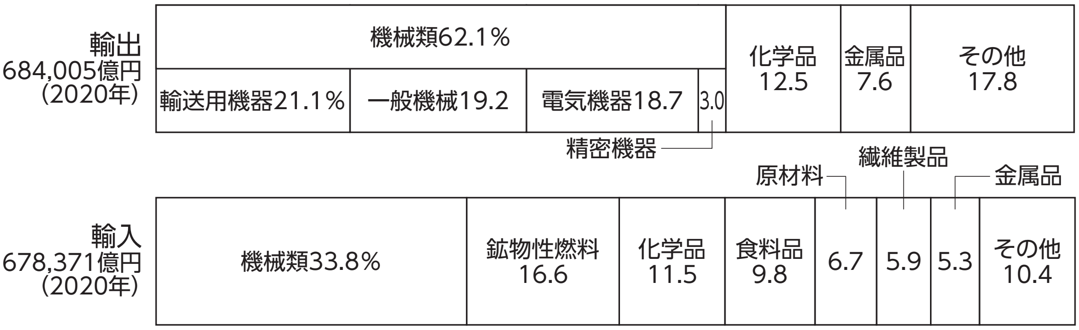
・高度な技術力を活かした**半導体**や，**自動車**などが主力の輸出品目。

・**中国**など**アジア地域**から機械類や衣類など**工業製品**の輸入が増加。

→外国産の安い製品が市場に出回ることで，零細企業の経営が成り立たなくなることも。

・2011 年の東日本大震災による原発事故に際して，**天然ガス**の輸入量も増加した。

・最大貿易相手国：**中国**



（『データブック オブ・ザ・ワールド2022』により作成）

日本の輸出品・輸入品構成

2 日本の貿易に関する取り組み

1. FTA や EPA の締結

・21 世紀に入り，日本も〔　　　　〕（**自由貿易協定**）や〔　　　　〕（**経済連携協定**）の締結に乗り出す。

→ 2002 年**シンガポール**と FTA を締結，その後 **EPA** に発展。東南アジアなど**環太平洋地域**を中心に，世界各地と経済連携を推進している。

・ほかにも **CPTPP** への参加，また 2019 年には〔　　　〕との間に **EPA** の発効。2020 年には中国の主導する〔　　　　　〕に署名している。

2. エネルギー自給率向上や，国内産業の育成

・輸入エネルギーに頼らない体制づくり。

→**再生可能エネルギー**の普及や，〔　　　　　　　　　　　　〕の採掘と実用化へ向けた研究。

・外国製の安価な工業製品・農畜産物の流入によって，国内の産業が打撃を受けた。

→高度な技術や研究開発能力を活かした〔　　　　　　　〕**型産業**へと転換が図られている。

→農業における生産性の向上や，ブランド化により品質・価値を向上させる取り組み。

まとめ

高度な技術力を活かした半導体や，自動車などが主力の輸出品目。

中国。世界最大の工業生産力を誇る国で，機械類や衣類などを主に輸入している。

第 10 講　PART5　確認問題

1　EU の説明として**正しくないもの**はどれか。

① 人・モノなどの移動が自由な，巨大な自由貿易圏である。
② 貿易額は世界の約 30%を占めている。
③ EU に属する国は，EU 圏内での貿易の割合が高い。
④ フランスには，周辺国から多くの工場が進出している。

2　アメリカ合衆国・カナダ・メキシコが NAFTA に代わり結んだ貿易協定はどれか。

① AU　② MERCOSUR
③ OAS　④ USMCA

3　アジア諸国の貿易について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 韓国では，世界的な生産量を持つ船舶の輸出が見られる。
② インドネシアでは，市場経済の導入により輸出量が急増した。
③ タイでは，日系企業の進出により自動車の輸出が増加した。
④ バングラデシュでは，輸出総額に占める衣類の割合が高い。

4　石油製品の輸出のほか，コンピュータソフトなどの輸出も多く，経済が急成長している国はどこか。

① インド　② 南アフリカ共和国
③ ブラジル　④ ロシア

5 日本の貿易の変遷について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 第二次世界大戦前は，繊維原料を輸入，織物などの繊維製品を輸出していた。
② 1960 ～ 70 年代は，鉄鉱石や石油などを輸入し，鉄鋼や機械類を輸出していた。
③ 1980 年代頃には自動車の輸出をめぐって，アメリカ合衆国などとの間で貿易摩擦が起こった。
④ 現在では機械類や衣類などが主たる輸出品目である。

6 現在の日本の最大の貿易相手国はどこか。

① アメリカ合衆国　② オーストラリア
③ 韓国　④ 中国

7 2019 年に日本との EPA を発効したのは次のうちどれか。

① ASEAN　② AU
③ EU　④ SAARC

8 貿易に関連する日本の国内動向について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 外国製の安価な工業製品・農畜産物の流入で，国内の産業は打撃を受けた。
② 高度な技術を持つ人材を活かした，労働集約型産業へと転換している。
③ 農業においては，ブランド化によって付加価値を生み出している。
④ 輸入に依存したエネルギー供給体制を改めるため，再生可能エネルギーの普及を行っている。

第10講　PART5　確認問題　解答

1 解答：④　周辺国から多くの工場が進出している国は，フランスのように賃金水準の高い国ではなく，賃金水準の低い**スペイン**などである。

2 解答：④　**USMCA（アメリカ合衆国・メキシコ・カナダ協定）**は，NAFTA（北米自由貿易協定）に代わり，2020 年に発効された。

3 解答：②　市場経済の導入により輸出量が急増した国は**ベトナム**である。

4 解答：①　コンピュータソフトなどの輸出により経済が急成長している国は，**インド**である。インドでは**ベンガルール**などに ICT 産業が集積している。

5 解答：④　現在日本は，中国やアジア地域から**機械類**や**衣類**などを**輸入**し，高度な技術力を活かした**半導体**や**自動車**などを**輸出**している。

6 解答：④　かつてはアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であったが，現在の最大の貿易相手国は**中国**である。なお，最大の輸出先はアメリカ合衆国である。

7 解答：③　2019 年に日本との間に EPA を発効したのは，**EU** である。EU を脱退したイギリスとは個別に EPA を締結し，2021 年に発効した。

8 解答：②　日本の国内産業は，高度な技術を持つ人材を活かした**知識集約型産業**へと転換している。